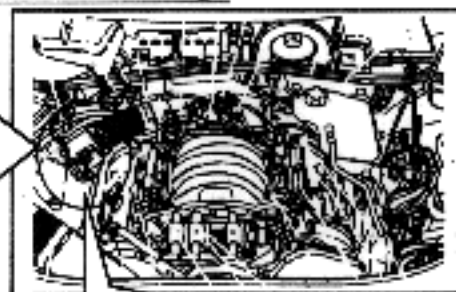


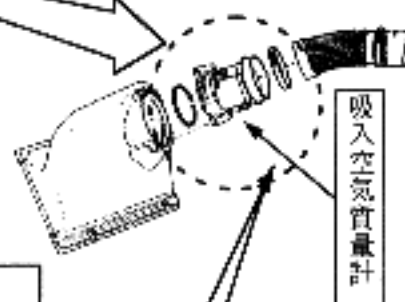
改善箇所説明図②



基準不適合発生箇所②

原動機

原動機の吸入空気質量計の整流ネットの取付構造が不適切なため、バック・ファイア等により、脱落し、最悪の場合、スロットル・バルブ部に引っかかり、原動機の回転が下がらなくなるおそれがある。



(改善内容②)

全車両点検し、樹脂製吸入空気質量計の整流ネットの接着剤の塗布量が少なく、金枠が見えるものは脱落防止用の樹脂製リングを取付ける。また、当該整流ネットが脱落しているものは吸入空気質量計を良品と交換する。

樹脂製吸入
空気質量計

不具合品

良品

接着剤の塗布
量が少ない

接着剤の塗布
量が多い

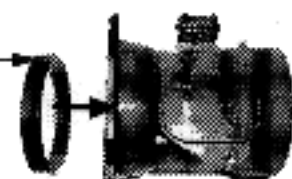
(不具合品)

接着剤の塗布量が少なく、金枠が見えるもの。

(良品)

接着剤の塗布量が多く、金枠が見えないもの

脱落防止用の樹脂製リング



エアクリナー側

エンジン側

(作業終了の識別②)
運転席ミッドアール側、上部ミッドアール・ヒンジ付近に黄色又は白色のペイントで識別マークを付ける。